

- ポータルサイトの更なる充実に加え、「全国サポカー大試乗祭り」の開催や国際シンポジウムへの出展など、普及啓発策を官民連携で推進。新車乗用車販売に占める衝突軽減(自動)ブレーキ搭載率は上昇(平成27年:約45%、平成28年:約66%、平成29年:約78%)。
- 31年度税制改正における①自動車税の恒久減税、②取得価額1%分軽減等の大幅減税により、新車への代替を通じたサポカーの更なる普及を図る。

## サポカー普及啓発の充実

### サポカーポータルサイト



- 平成29年9月の立ち上げ以降、延べアクセス数は約15万超(平成31年4月時点)
- 該当車種を記載した「サポカー早わかりブック」掲載(平成30年3月)など、コンテンツを拡充。

<https://www.safety-support-car.go.jp>

試乗会情報も集約して掲載

### 全国サポカー大試乗祭り・啓発ブース

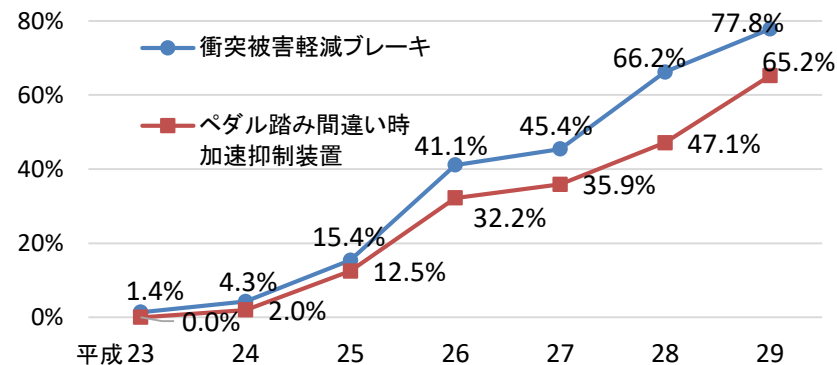


- 平成30年9月14日～10月31日、33都道府県で計102回のサポカー試乗会開催。
- EVS31(第31回国際電気自動車シンポジウム・展示会)にサポカー/サポカーS普及啓発ブースを出展(9月30～10月2日)

### 「サポカー早わかりブック」



## 新車(乗用車)の衝突軽減(自動)ブレーキ等搭載率の推移



## 平成31年度税制改正 車体課税の抜本見直し

- 平成31年10月以降に新車登録車を購入する場合、毎年払う「自動車税」を減税。特に、2000cc以下の車では、毎年10～15%程度の大幅減税。
- 平成31年10月から1年間、購入時の税負担を1%軽減。

**自動車ユーザーや消費者に対し、官民連携して効果的な周知・広報を実施**